

杉山あつしだより

皆さんの声を県政に！



発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）
第12号（2022年4月1日発行）

静岡市駿河区泉町1-12-202
電話 054-204-1098 FAX 054-282-0143

ロシアの「ウクライナへの軍事侵攻」に、断固抗議します

人類が繰り返してきた多くの失敗、多数の犠牲者の上に国際連合・国際法・人権思想が生まれてきました。今を生きる私たちは、過去の失敗を繰り返すことなく、国際社会が連帯し、人権思想を広めていかなければなりません。

ロシアのウクライナ侵攻に対して、静岡県議会はいち早く2月28日に非難の決議を採択しました。個人としても、ロシアのウクライナ侵攻に断固抗議致します。原発のある国への戦争行為は、核戦争を意味することが分かりました。国際社会において私たちは、速やかに脱原発を追求していかなければなりません。また、ロシアへの経済制裁のためにも石油・天然ガスの輸入量、使用量を減らし、「脱炭素社会の実現」を積極的に進めていくことが必要です。

ご挨拶

「これまでの議員とは違う、ボトムアップのまっとうな政治を実現させたい」「働く勤労者・労働者にもっとやさしい社会をつくりたい」「将来にわたって子どもたちが、安心して暮らせる平和社会をつくりたい」そんな思いから県議会議員に挑戦して3年。今もこの思いは変わりません。

昨年度は2回の本会議質問を行うことができ、川勝県知事に市民や学生の思いを伝えるべく質問させていただきました。4年目となる今年度も、皆さんとともに「誰もが、安心して暮らせる平和でやさしい社会」をつくるべく歩んでまいります。

静岡県議会議員 杉山あつし



静岡県議会議場

●静岡県議会2月定例会本会議・一般質問(3/2)

「政策形成プロジェクト」や、各種団体との意見交換等の集大成として本会議での質問を行いました。今回行った質問は6項目で、特に、①大学生の貧困対策・支援体制、②地域防災活動での女性の活躍促進、③脱炭素社会に向けた計画推進の3項目を重点項目としました。

質問項目

- ①大学生の貧困対策・支援体制
- ②地域防災活動での女性の活躍促進
- ③県民一体の脱炭素社会に向けた計画推進
- ④スポーツを通じた交流人口の拡大
- ⑤障害者作業所、訓練施設の工賃向上
- ⑥職域の国民健康保険組合に対する県の助成

①「大学生の貧困対策・支援体制」

静岡県立大学生有志が結成したプロジェクト「学生助けたいんじゃー」のメンバーと会合を重ねて作成しました。社会福祉学科・看護学部では、実習先の指示によりバイト禁止期間があり生活費に困窮する学生がいること。中途退学生を出さない支援の充実や、専任のソーシャルワーカーの配置を強く要望しました。メンバー3人とその友人2人が傍聴参加したほか、マスコミの関心も高く、終了後数社から学生への取材がありました。



②「地域防災活動での女性の活躍促進」

政策形成プロジェクトのメンバーの皆さんと内容を検討し、熱海で起きた土石流災害の避難生活で、女性の意見の反映が遅れたことなどの課題を提起しました。今後も、市民や学生と一緒に話し合い、実践を目指していきます。

③「県民一体の脱炭素社会に向けた計画推進」

2月県議会では、脱炭素社会推進の質問を行った議員が多く調整に苦労しました。待ったなしの温暖化対策への関心の高さが示されました。

●静岡県議会・文教警察委員会(3/8.9)

教育委員会への質疑

- 選抜高校野球聖隷クリストファーの選考外れへの県教委の対応
- コロナウイルス感染拡大による教職員の公務災害の申請状況
- 公用車のEV（電気自動車）化促進

警察本部への質疑

- 信号機のLED化促進の課題
- 公務災害が認定された自殺事案における遺族への不誠実な対応の指摘と、今後の公務災害申請への考え
英語力が必須要件となる海外研修に対し、英会話が得意ではない職員を選考したことで、過労と精神的に追い込まれたことで起きてしまった自殺です。警察には丁寧な対応を強く求めました。



県議会委員会室

●HARD OFF ECOスタジアム新潟など新潟県への視察(12/23.24)

三条市のデマンド交通は、静岡市が高松中学校区で実証を始める「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト」の参考となりました。新潟県立野球場は、プロ野球球団仕様の野球場となっており、プロ野球誘致活動の説明の他、施設内の会議室やスタンド下の室内練習場が安価で借りられるなど、運営上の工夫も多く大変参考になりました。新潟県庁では、食文化観光についてお話を伺い、静岡県が推進する食文化を体験するツーリズムである「ガストロノミーツーリズム」の参考になりました。



HARD OFF ECO スタジアム

● 三条市デマンド交通

利用者の予約を受けてタクシー車両が市内618個所の停留所間を運行。運賃は複数人乗車であれば400又は800円

● 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト

複数の公共交通（鉄道、路線バス、AI相乗りタクシー）を活用した新たな移動サービスの実証実験

●県民栄誉賞授与式を見学・立会い(12/27)

東京オリンピック卓球競技の金メダリストである磐田市出身の水谷隼さんと、伊藤美誠さんへの県民栄誉賞授賞式を見学・立会いさせていただきました。金メダルも近くで見ることができ、オリンピックの舞台を思い出しました。



県庁本館特別会議室

●初日の出宣伝・あいさつ行動(1/1)

元旦の朝は、地元前浜の交差点で新型コロナウイルスの報告を交えながらの初日の出・あいさつ行動を実施しました。厚手のベンチコートを引き張り出し、久しぶりに会う多くの方々に声をかけていただきながら、2022年のスタートを切ることができました。



●路上生活者新年会(1/3)

駿府城公園で行われた路上生活者静岡パトロール(静パト)の新年会に参加しました。静パトは毎月第2金曜日に路上生活者の寝場所を周り、様々な援助を行っています。これからも県議として協力していきます。



●深沢松崎町長を表敬訪問し意見交換(1/11)

11月の松崎町長選を経て就任した深沢準弥松崎町長への自治労県本部の表敬訪問に同行しました。立候補決意の苦勞、町の未来に向けての考え、県への要望などで意見交換を行いました。深沢町長は松崎町職員出身。10月に課長職を辞して急遽町長選挙に立候補した方で、職員組合委員長をされていた時に面識があり、有意義な意見交換ができました。



●県大生による学生の貧困調査報告会(1/14)

静岡県立大の学生グループプロジェクト「学生助けたいんじゃー」による学生の貧困調査の報告会を開催しました。県議5人の他、静岡、焼津、藤枝の市議各1人、吉良総合教育局長等の県職員も参加しました。

- 看護学部や社会福祉学科は実習先からバイト禁止の指示があり収入が減少
- 相談支援としてキャンパスソーシャルワーカーの必要性
- 大学当局の理解の低さ

などが報告されました。しっかりと県に対応を求めています。



●「第2回コロナ禍の偏見と差別を考える会」(1/25)

政策形成プロジェクトのメンバーでもある静岡大学・山本崇記教授が主催された「第2回コロナ禍の偏見と差別を考える会」に参加しました。感染した子どもたちの体験談を通じ、コロナによって学校に行けないこと、他人に迷惑をかけることへの心的ストレスが明らかとなり、ケアの必要性を認識しました。また、過度の手消毒から、目の病気にかかる子どもが目立ってきているなどのお話を聞くことができました。

●福島子ども支援募金のお手伝い・さようなら原発静岡街頭宣伝(3/11)

東日本大震災から11年目となる3月11日、「311を忘れないin静岡」福島子ども支援募金に参加し、発災時刻である14時46分に参加者、通行人と共に黙とうをささげました。福島県の子どもの甲狀腺がんは年々増えており定期的な検診が必要で。

夕方は、青葉公園でさようなら原発街頭宣伝行動に参加し、「大規模地震と原発は共存できないこと」、「3万人以上が原発事故の関係で自宅に戻っていないこと」、「発災当時の東京電力の隠ぺいの酷さ」などの思いを報告させていただきました。



●会派リニア問題学習会(1/31)



会派リニア問題学習会が開催され、国土交通省と静岡県のリニア審議会委員をつとめる森下祐一静大教授から話を伺いました。

- JR東海は毎年5千億円のリニア建設費を支出、コロナで収益悪化しどうなるか
- 建設費が増額となり、工事は財政面からも延期せざるを得ない
- ルート変更は、難しいのではないかと

など、興味深い話を聞くことができました。



県庁本館特別会議室

●コロナ検査の最前線・環衛研視察(2/3)



同僚議員である沢田智文県議と、藤枝市谷稲葉にある環境衛生科学研究所を視察しました。この研究所は新型コロナウイルス検査の最前線として、変異株を中心に検査を行っています。感染症の検査部門を三島健康増進センターへ設置しようとの動きがありますが、ウイルスが外部に漏れないよう減圧室などの設備が必要です。改築改修では対応が難しいように思いました。



環境衛生科学研究所

●静岡県地球温暖化防止県民会議の傍聴(2/17)



今年度から2030年までの9年間を計画期間とする「第4次静岡県地球温暖化対策実行計画」を審議する静岡県地球温暖化防止県民会議を傍聴しました。県が募集したパブリックコメントには、温室効果ガスの削減の前倒しや、再生可能エネルギーの導入目標の引上げへの意見など、77人から332件の意見が寄せられ、県民の関心の高さを改めて知ることとなりました。

●ゴミゼロ運動高松海岸清掃・6R県民運動実践(3/20)

毎月第3日曜日に、高松海岸で実施されているゴミゼロ運動に長女とともに参加しました。海岸には堤防工事に入れないため、ゴミの量は少なめでした。



高松海岸



編集後記

特殊詐欺、振り込み詐欺は、高齢者の記憶力の弱さに漬け込み、貴重な老後資金を奪う卑劣な行為であり、県議になって以来、その撲滅に向け何度も質問を行ってまいりました。引き続き被害を減らすよう対策強化を訴えてまいります。

母の一周忌を兄弟夫婦で無事に済ませることができました。私が小学6年生の6月に父が39歳時に肝臓がんで亡くなり、その日から3歳下の弟との3人での生活が始まり、苦勞して私たちを育ててくれた母を思い出しました。ひとり親への福祉施策が不十分な時代であり、苦勞していたことを思い返しながら母を偲びました。

私生活では、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に注目しています。静岡東部の地名と、その地名が苗字の伊東・江間・仁田・山木・土肥・河津などの豪族や武士、いずれも大変興味深いです。毎週日曜日の、夜の時間が待ち遠しいです。



■杉山あつし事務所

静岡市駿河区泉町1-12-202

TEL:054-204-1098

FAX:054-282-0143

携帯電話:090-1279-1443

MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp



今後も、皆さんからの様々な提案・要望をお待ちしています。



ID 461voxc